

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(有限会社ホテル山芳(ホリデープラザ志賀高原))

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【赤線当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (黒などの取得確証があれば、併せて記載) (【赤線当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			あらゆる雇用条件において、差別のない体制を構築しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメント防止の方針及び策定を従業員へ周知し、常に相談にのれる体制を取っています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			明確なシフト管理を行い、人手が足りない時は人手を調整する等、長時間労働の回避を実行しています。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			現在外国人労働者の雇用は現在行っていませんが、雇用の際は差別や人権侵害が無いよう徹底します。			4.4					8.7 8.8	10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			各人の体力や能力に合わせ業務を任せ、大きな負担が無いよう努めています。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			常に相談にのれる体制を取っており、従業員同士の関係性維持やメンタルヘルスの良好維持に努めています。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			現状高齢者の方の雇用も多く、全ての労働者が活躍し、気持ちよく働ける場所の提供を行うと共に、平等な処遇と評価制度を採用しています。					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			【予定】業務に役立てるための研修参加や資格取得等、希望があった際は教育機会を推奨します。			4	5.5				8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			雇用形態の異なるそれぞれの労働法を把握し、同一労働同一賃金等の原則に沿っている。					5.5			8.5	10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上に取り組んでいる	チャレンジ			1年に1回の健康診断を行い、社員それぞれの健康状態の把握を行っています。			3					8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物(食料品)の削減に努め、廃棄物が出た場合は適切に処理を行っています。										11.6	12.4		14.1				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			電気・ガス・灯油・水道の利用量を毎月把握し従業員にも共有しながら、削減に向け努めています。							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			館内照明のほとんどはLED化が済んでおり、継続して省エネの取組を行っています。								7.2 7.3			12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			環境へのリスクを最低限にするため、ゴミの廃棄など適切な処置を行っています。			3.9			6.3				11.6	12.4						

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認定があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			従業員の他お客様からの意見も取り入れ、常に安心と安全に努めています。			3,9										12,4						
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			お客様から頂く評価やご意見も参考にしながら、リピーターはじめ全てのお客様に満足いただけるサービスの提供ができるよう常に努めています。													9						
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			節電や環境に配慮した厨房機器を取り入れる等行っています。							6							12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			【予定】 バリアフリー化を検討、安全性確保も含め今後改善に努めます。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地域を盛り上げ活性化するため、SNSや公式ホームページ上で情報を上げています。					4							9	11	12		14	15	17	
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			環境学習プログラム実施のためのサポートや森林再生事業、在来植物保護のための取組など様々な取組を行っています。					4									11		14	15	17	
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			お客様に提供する地酒や食事で提供する野菜など、可能な限り地元産を使用しています。									8	9			11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			経営目標は社内で定期的に共有しています。											8	9						17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			法令遵守について従業員に周知しています。																		16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			【予定】 今後体制の整備を行います。																		16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			アンケートやクチコミ投稿によりお客様からのご意見を頂戴し、問題解決に向け努めています。																		16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			災害等を想定し、防災訓練・消防訓練を定期的に行っています。																		16	
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			安心安全で価値あるサービスの提供、雇用の確保、そして環境に配慮した企業活動を今後も継続してきます。																		16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			いかなる場合でも事業が再開できるよう体制作りを行っています。												9		11		13	13,1	16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			継続的な人材採用と教育を行っています。												8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- 【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認定・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクスセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA (Responsible Business Alliance)（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**赤字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせて、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定